

公募システム入力項目

事業内容: No.	20190712-0027
団体情報: 団体名	公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団
団体情報: 設立年月日	1973/3/28
団体情報: 団体の種類	公益財団法人
団体情報: 法人格取得年月日	1973/3/28
団体情報: 代表者 役職	会長
団体情報: 代表者 氏名	前田康吉
団体情報: 〒	105-8480
団体情報: 住所	東京都港区虎ノ門3丁目4番10号虎ノ門35森ビル9階
団体情報: TEL	03-6402-5311
団体情報: Email	t_endo@bgf.or.jp
団体情報: ウェブサイト	http://www.bgf.or.jp/
団体情報: 過去3年以内に非営利組織評価センター（JCNE）による評価を受けていますか	④受けていない
団体情報: 上記で①、②を選択した場合、コチラに対象URLを入力してください	
団体情報: 理事（人数）	8
団体情報: 評議員・社員（人数）	6
団体情報: 監事（人数）	2
団体情報: 監事のうち公認会計士または税理士（人数）	1
団体情報: 事務局職員 常勤有給（人数）	34
団体情報: 事務局職員 常勤無給（人数）	3
団体情報: 事務局職員 非常勤有給（人数）	0
団体情報: 事務局職員 非常勤無給（人数）	0
団体情報: 正会員 個人会員（人数）	0
団体情報: 正会員 団体会員（人数）	0
団体情報: その他 個人会員（人数）	0
団体情報: その他 団体会員（人数）	0
団体情報: ボランティア（前年度人数）	0
団体情報: 寄付（前年度件数）	304
団体情報: 組織概要（400字以内）	組織のビジョンとミッション、事業内容について記述してください。わが国の青い海と緑の大地を実践の場とし、主として海洋性レクリエーション事業を軸とした青少年の健全育成、身体活動を通じた幼児から高齢者までの心身の健康づくり、水の安全教育と海事知識並びに環境保全の普及・啓発等、公益の増進を図る事業の振興に寄与し、海洋国日本の発展に資するため、次の事業を行っている。①青少年の健全育成事業 ②幼児から高齢者までの心身の健康づくり事業 ③水の安全教育と海事知識の普及・啓発事業 ④国際交流と環境保全事業 ⑤指導者養成事業

公募システム入力項目

<p>団体情報: 助成事業の実績 (800字以内)</p>	<p>これまで実施した助成事業の各助成プログラム内容と成果 (前年度実績)</p> <p>1. 修繕助成事業 建設後10年を経過した海洋センターを対象に、施設の機能保全および機能向上 (バリアフリー化など) を目的とする修繕、ならびに自然災害により被害を受けた施設の原状復帰修繕に対して助成金を交付する。</p> <p>(1) 通常修繕 海洋センターの機能保全や機能向上を図るための修繕 (2) 災害復旧修繕 自然災害 (地震・台風・豪雪など) により被害を受けた場合の原状復帰の修繕 (3) 特別施設整備 海洋センターの移設や建替え、有効活用を目的とした用途変更等の修繕 → 修繕助成により、地域コミュニティの拠点を担う施設の快適性・利便性が向上し、耐用年数も大幅に延伸した。41件492,300,000円</p> <p>2. 「第三の居場所」設置運営支援 様々な困難な状況にある子供たちを放課後に受け入れて支援する拠点施設「第三の居場所」の設置を2018年度より開始。拠点施設の開設費や運営費を支援し、子供たちの生活習慣から学習支援まで総合的なサポートを行い、自立する力を育むことを目的としている。 → 利用する子供たちの支援にとどまらず、自治体の部署間連携や他のセクターとの協力関係により、自治体の子育て支援拠点となっている。9件、297,560,000円</p> <p>3. 子育て支援事業「BG塾」 共働き世帯やひとり親家庭の増加により、夏休みや冬休みなどの長期休暇は子供がひとり、家で過ごす時間が増える状況にある。学校では経験できない海洋性レクリエーション等の多様な体験機会を持つことができる長期休暇中に、学校や教育委員会、ボランティア等が連携し、学習と体験活動が両立する居場所をつくることで子育て支援を図る。 → プログラムの実施にあたり、大学生や高齢者など地域人材の協力を得ることで世代間交流を促進。保護者から「子供が家に一人でいる時間が減らせた」「休み期間中も規則正しい生活が送れた」との意見が多く好評を得ている。30件、1,053,600円</p>
<p>団体情報: 前年度の助成件数 (件)</p>	<p>80</p>
<p>団体情報: 前年度の助成総額 (円)</p>	<p>790913600</p>
<p>団体情報: 決済責任者 (常勤/非常勤)</p>	
<p>団体情報: 決済責任者 役職</p>	
<p>団体情報: 決済責任者 氏名</p>	
<p>団体情報: 経理担当者 (常勤/非常勤)</p>	
<p>団体情報: 経理担当者 役職</p>	
<p>団体情報: 経理担当者 氏名</p>	
<p>団体情報: 通帳管理者 (常勤/非常勤)</p>	
<p>団体情報: 通帳管理者 役職</p>	
<p>団体情報: 通帳管理者 氏名</p>	
<p>団体情報: 年間決算の監査を行っていますか?</p>	<p>①監事を実施</p>
<p>団体情報: 上記で ③その他で実施 を選んだ場合はコチラに記述してください</p>	
<p>団体情報: 必要な会計帳簿が備え付けられている</p>	<p>はい</p>
<p>団体情報: 業務別に区分経理ができる体制である</p>	<p>はい</p>

公募システム入力項目

団体情報: 関連する情報 (複数選択可)	寄付やボランティア等の市民参加がある; 当事者、住民の参加がある; 助成先に非資金的支援を行っている; 助成活動の案件の発掘・形成・発展のための情報収集や調査研究を行っている; 他のセクター・団体との共創・協働
団体情報: 3年前 年度 (西暦)	2016
団体情報: 3年前 年度期間 (開始)	2016/4/1
団体情報: 3年前 年度期間 (終了)	2017/3/31
団体情報: 3年前 総額 (円)	1322412089
団体情報: 3年前 会費 (円)	0
団体情報: 3年前 自主事業 (円)	557451066
団体情報: 3年前 寄付金 (円)	3826848
団体情報: 3年前 受託事業 (円)	0
団体情報: 3年前 国・地方公共団体からの助成金/補助金 (円)	0
団体情報: 3年前 民間からの助成金 (円)	760030067
団体情報: 3年前 その他 (円)	1104108
団体情報: 2年前 年度 (西暦)	2017
団体情報: 2年前 年度期間 (開始)	2017/4/1
団体情報: 2年前 年度期間 (終了)	2018/3/31
団体情報: 2年前 総額 (円)	1365778182
団体情報: 2年前 会費 (円)	0
団体情報: 2年前 自主事業 (円)	563139031
団体情報: 2年前 寄付金 (円)	7399398
団体情報: 2年前 受託事業 (円)	3000000
団体情報: 2年前 国・地方公共団体からの助成金/補助金 (円)	0
団体情報: 2年前 民間からの助成金 (円)	790888825
団体情報: 2年前 その他 (円)	1350928
団体情報: 1年前 年度 (西暦)	2018
団体情報: 1年前 年度期間 (開始)	2018/4/1
団体情報: 1年前 年度期間 (終了)	2019/3/31
団体情報: 1年前 総額 (円)	1643633480
団体情報: 1年前 会費 (円)	0
団体情報: 1年前 自主事業 (円)	561639716
団体情報: 1年前 寄付金 (円)	7042319
団体情報: 1年前 受託事業 (円)	764980
団体情報: 1年前 国・地方公共団体からの助成金/補助金 (円)	0
団体情報: 1年前 民間からの助成金 (円)	1071858034
団体情報: 1年前 その他 (円)	2328431
団体情報: 今年度 収入見込み総額 (除休眠預金円)	1713975000

公募システム入力項目

団体情報: 今年度 会費 (円)	0
団体情報: 今年度 自主事業 (円)	499000000
団体情報: 今年度 寄付金 (円)	6624000
団体情報: 今年度 受託事業 (円)	0
団体情報: 今年度 国・地方公共団体からの助成金/補助金 (円)	0
団体情報: 今年度 民間からの助成金 (円)	1207445000
団体情報: 今年度 その他 (円)	906000
団体情報: メモ	
申請事業 分類1	①草の根活動支援事業
申請事業 分類2	①-1 全国ブロック
申請事業 分類3	
申請事業名 主題 (15字以内)	障害児等の体験格差解消事業
申請事業名 副題 (任意・30字以内)	水辺の自然体験を通じて障害児や養護施設の子供の人間形成を図る
助成希望期間	3年
助成金申請額 (円)	41000000
優先的に解決すべき社会の諸課題 (複数選択可)	②【分野1】日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援
その他 を選んだ場合はコチラに記述してください	
申請事業の概要 (300字以内)	<p>どのような課題の解決を目指し、どのような活動を行うのかについてその概要を記述してください ●課題 ①子供たちの協調性や連帯感、探究心や克己心等の養う人間形成に高い効果を発揮する自然体験活動に、個人の障害や家庭・経済的事業により参加できない子供が多くいる。 ②特に海や川など水辺での自然体験は、非常に楽しい反面、陸上と違い習熟した指導員等の下でなければ危険であるため、より参加しづらい状況である。 ●活動内容 ①全国で障害児や児童養護施設の子供たちを対象としている海洋レクリエーション体験活動を実施している団体と連携し、そのような状況下の子供たちの海洋体験活動を推進する。</p>